

市原市スポーツ推進に係る協力金趣意書



市原市には、悠久の歴史や豊かな自然、我が国を代表する臨海部コンビナート群の立地、そして、何よりも市民の強い行動力と団結力など、多くの資源に恵まれております。

本市は、これらの様々な資源を活用し、あらゆる力を結集し「変革と創造」による新たな未来を切り拓くまちづくりに挑戦するため、2017年3月に今後10年間のまちづくりの羅針盤となる「市原市総合計画」を策定し、「夢つなぎ ひときらめく 未来創造都市 いちはら」の実現を目指しています。

これからのまちづくりにおいて、最も大切なのは「ひとの力」です。市原市総合計画では、愛着と誇りを育むまち実現のため「子どもたちの輝き・若者の夢・いはらの文化を育むまちへ」を大きな柱のひとつに掲げ、その中で、スポーツの推進に関しては「魅力と親しみにあふれるいはらのスポーツ文化を育み、文化スポーツで世界と交流します」とし、スポーツをまちづくりのツールの一つと捉え、様々な分野との交流・連携によりスポーツからいはらの魅力を高めていきます。

《スポーツの国際大会が連続する絶好の機会の到来》

本市では2018年から2020年にかけて連続して開催されるスポーツの世界大会を絶好の機会として捉え、まちづくりに活かすため、「市原市2020年東京オリンピック・パラリンピック取組方針」を策定し、大会を契機に、キャンプ誘致やスポーツを通じた国際交流、それらに伴う施設改修等を実施し、市民のスポーツに対する関心・意欲の向上、地域への愛着や誇りの醸成、良好なスポーツ環境の整備といった様々なレガシーの創出につなげたいと考えています。

その中で、本市は東京オリンピック・パラリンピックにおけるニュージーランドのホストタウンに登録し、2018年の世界女子ソフトボール選手権大会では、同国代表チーム「ホワイトソックス」の事前キャンプを受け入れました。2019年は、ラグビーワールドカップ開催に向け、アイルランド代表の公認チームキャンプ地に決定したほか、スーパーラグビーに参戦している日本の「サンウルブズ」が市原スポレクパークを練習拠点として活動することになりました。また、2020年東京オリンピックに向けては、サッカー始めとした各競技の事前キャンプ誘致を進めています。

これらの取り組みにより、人々に夢や希望、感動をもたらすスポーツの無限の力を本市の新たな未来を切り拓く力に加えるため、スポーツ推進に係る寄附の協力を依頼するものです。

寄附金は2018年12月に創設しました「市原市スポーツ振興基金」に積み立て、スポーツによるまちづくりに資する事業に活用させていただきます。

これらの趣旨にご賛同いただき、スポーツによるまちづくりに御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

市原市長 小出 譲治

寄附金の活用

協力金を次のような事業に活用します。

- (1) スポーツ用具整備事業
- (2) スポーツ施設整備事業
- (3) 強化指定選手・団体支援事業
- (4) 競技大会優秀選手・団体褒賞事業
- (5) スポーツを通じた国際交流事業
- (6) その他市原市スポーツ推進計画の実現等に資する事業